

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3893600043
法人名	株式会社 新風会
事業所名	グループホーム早雲
所在地	愛媛県喜多郡内子町大瀬中央5 6 6 2 番 2
自己評価作成日	平成23年9月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年11月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>内子町大瀬の、のどかな自然の中木造建築の建物がひととき引き立ちます。ご近所の皆様に暖かく見守って頂きながら地域に根差すグループホームを目指しています。毎朝元気にリハビリ体操を行っています。日常生活において、掃除、調理や洗濯など、それぞれが得意とする事に対し役割を持っていただき、自然に本人の意欲を引き出しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

<p>この一年間、事業所では、地域との関係作りに力を入れて取り組んで来られた。ホーム便りを地域向けに作成した「地域新聞」を地区の回覧板で回していただいております。中には認知症について等のコラムも載せ、地域への理解に努めておられる。地区に住む職員も数名おり、地域情報も入りやすく、商店街で開催されている「農業祭」へ見学に行かれた際には、近くに車を駐車できるよう配慮していただいた。又、秋祭り際には小学校に出かけて行き、みこしや獅子舞を見学され、写真を撮る等して楽しまれた。地区のサロンの方が来てくれて、門松作りをされたり、サロンの方宅の笹を分けていただき、七夕の笹飾りを作ったり、おやつ「芋もち作り」に来てくださったこともある。職員は、地区の運動会時に地区代表でレレーに出場されたり、球技大会ではバレーにも参加された。</p>
--

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム早雲

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

森本あけみ

評価完了日

H23年 9月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域理念を作り、地域との交流をはかるため、行事を計画実行し、職員も理念を理解し実践につなげている。 (外部評価) 事業所理念は、開設時に職員で話し合い「あいさつ 笑顔 感謝 尊敬 認めあう」と作成して居間等に掲示され、目標等も立てて実践につなげられるようにされている。さらに、前回の評価結果を受けて、事業所では「地域理念」を「地域家族 入居者が理解し合って信頼できる関係を築く」と作成して、玄関に掲示されていた。事業所では、利用者同士も、理解しあい認めあいながら共同生活できるような支援に取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の情報を知るため回覧板を回してもらったり、地域行事に参加をしている。また、ホームで計画した行事にご近所の方が参加して下さったり、向かいのお子さんが時々遊びに来てくださる。地域のサロンの方たちとも交流を行っている。 (外部評価) この一年間、事業所では、地域との関係作りに力を入れて取り組んで来られた。ホーム便りを地域向けに作成した「地域新聞」を地区の回覧板で回していただき、その中には認知症について等のコラムも載せ、地域への理解に努めておられる。地区に住む職員も数名おり、地域情報も入りやすく、商店街で開催されている「農業祭」へ見学に行かれた際には、近くに車を駐車できるよう配慮していただいた。又、秋祭り際には小学校に出かけて行き、みこしや獅子舞いを見学され、写真を撮る等して楽しまれた。地区のサロンの方が来てくれて、門松作りをされたり、サロンの方宅の笹を分けていただき、七夕の笹飾りを作ったり、おやつ「芋もち作り」に来てくださったこともある。職員は、地区の運動会時に地区代表でリレーに出場されたり、球技大会ではバレーにも参加された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の講演会を地域のグループホームの方たちと毎年行っている。また、家族会で認知症の勉強会を行った。大瀬中学校の福祉体験の受け入れもしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 定期的に運営推進会議を行い、行事や入所者の情報を伝え意見などをきいている。また、自己評価や外部評価を行う事を伝え改善策なども報告して意見を聞いている。	
			(外部評価) 会議は事業所2階の会議室で、隣接の系列グループホームと合同で開催されている。事業所からは、職員やご家族が一名参加されている。その他、自治会長や区長、ご近所の方等も参加して下さっており、事業所から利用者の状況や外部研修で勉強したことを報告される等して、事業所のことをより知っていただけるよう取り組まれている。又、会議と家族会を合わせて行い、認知症の勉強会を行われたり、行事等と合わせて参加しやすいように工夫されている。11月の会議では、事業所の普段の食事を食べていただきながら、感想等を聞くような取り組みも予定されている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に参加していただき、情報を共有している。事故報告書の提出やケアプランの提出をし、取組みを伝えている。	
			(外部評価) 町内のグループホームが持ち回りで、毎月連絡会を行っておられ、管理者が出席されている。12月は事業所が担当で、場所等も提供して、フリートークしながら意見交換することを予定しておられた。年に1回は町内のグループホームが協働して、地域の方・行政・関係者等にも声をかけて、みなで認知症の理解を深められるような会を開き、地域の認知症ケアの向上に貢献されている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束が何故いけないのか研修に参加したり、全員での勉強会を行い、身体拘束をしない、日中は玄関に鍵をかけたケアを行っている。	
			(外部評価) ベッドの手すりに鈴等を付けて、利用者が手すりにつかまると鈴が鳴り、職員が気付くようにされている。以前は、利用者が落ち着かないような時で、職員の手が少ないような時にはユニットの入り口に鍵をかけるようなこともあったようだが、現在は利用者も落ち着いておられ使用されていない。玄関は網戸にしておられ、又、居間からベランダにも出られるようになっており、南側の窓も大きく、外の様子がよく見えて開放感がある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修へ参加し、虐待について管理者、職員は理解をしており、それぞれの行動に注意をし、気になる事があると声をかけあっている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 利用している人があり、どのような方が制度を利用しているか理解している。定期的な社協担当者の訪問がある。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居希望時に見学していただき、ホームを理解してもらい、重要事項の説明をしている。入居契約時にも説明をし納得していただいているから契約をしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時に家族とお話しをしたり、利用者さんにも希望等ないか確認をしている。運営推進会議に家族の参加があり、話のできる機会を作っている。 (外部評価) 毎月、ホーム便りや利用者個々の担当職員からご家族へ、利用者ご本人の様子を記した手紙をお送りして報告をされている。事業所では、第一回家族会を、1月に開催されており、まずは、ご家族同士の顔つなぎをされた。5月には運営推進会議とも合わせて認知症の勉強会を行っておられ、ともに勉強をされた。	事業所では、今回、自己評価されて「事業所の取り組みについて、ご家族からの意見や感想があまり出されていない」ことに気付かれた。利用する側で、ケアのパートナーであるご家族からの意見や要望は、事業所のケアの質を向上させるためのきっかけでもあることから、事業所からも具体的に引き出せるような働きかけの工夫が期待される。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ホーム長会議にて意見を出す事ができる。行事の企画は部長に確認してもらっており、職員の提案で行事を行うことができる。業務カンファレンスを行い、職員の意見を聞く機会を設けている。	
			(外部評価) 職員が講師となり勉強会を行ったり、職員のスキル等に応じて外部研修への参加を促す等して、管理者は、日々のケアや取り組みについて、職員自らが勉強したり気付けるような場面や機会を作っておられる。居間のテーブルの席順について、職員から「仲の良い利用者同士でお隣の席になれるよう」提案をされた際には、カンファレンス時に皆で話し合い採り入れられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 向上心を持って働ける様、施設長やホーム長、副ホーム長の役職があり手当が付く。資格手当もあり、向上心を持って働けるよう整備している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 南予地域の研修に参加したり、実践者研修やケアマネジャーの研修にも参加している。また、社内研修も定期的に行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 管理者は社内においてホーム長会があり、情報の交換、共有している。また、内子町のGH連絡会においても情報交換と共有を行っており、職員間も勉強会を行いサービス向上に結び付けている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 利用者様と話す機会をつくり、不安や希望を聞き、職員と利用者様との信頼関係を築いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 見学者や入所希望者に対して、何に困っているか、不安なことは何か聞き、ホームについての説明を行っている。入居時には、在宅中の様子を聞き、介護の大変さを理解し、信頼して頂ける様に努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の希望を聞き、療養マッサージを利用されている利用者様がおります。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者様一人ひとりが能力に合った役割を持って生活をしている。また、お互いに協力したり、利用者様同士で声をかけ合い良い関係が出来る様に、仲に入り支え合う関係が出来ている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 定期的に家族が訪問し、自室にてお話してくつろいで頂いたり、行事に家族と共に参加し、一緒に過ごして頂いています。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の協力を得て、馴染みの美容室へ連れて行って頂いたり、自宅への外出等ができています。 (外部評価) ご兄妹とお手紙のやり取りをされ、絵手紙でお返事が届いた際には、みなに見せてくださったこともある。みかん農家を営んでいた利用者には、みかんのことを話題にされることもよくある。利用者が他の利用者の手をさすってあげたり、困っているような利用者がいれば、他の利用者の方が気付いて、職員を呼ぶ等、助け合っておられる。	職員は、利用者個々の行ってみたい場所や思い出深い人・場所等の情報をよく知っておられる。又、利用者はそれぞれに「家に帰りたい」「実家に行ってみよう」というような思いも出ることがある。法人全体として、個別の外出支援には難しさもあるようだが、ご家族が支援しにくいことをサポートされたり、グループホームだからできるような支援について、この機会に話し合ってみてはどうだろうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) フロアでテーブルを囲むように座り過ぎて頂いています。気の合った利用者様同士が座ったり、お互いの意見を尊重し理解しあえるよう声かけをしながら支え合うように支援を行っている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去者には他施設に入所された方はいらっしゃらない為例がないが、ご葬儀には出席しています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の希望を聞き、困難な場合には行動から判断している。 (外部評価) 利用者のできることについて、定期的にチェック表で確認をされている。又、日々の中でできることを発見した際には、職員同士、口頭で申し送りされている。	さらに、利用者個々が「最期までその人らしい暮らしを続ける」ことを支援ができるよう、利用者個々の現在の思いや意向を集めて、蓄積していくことも期待される。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 今までの暮らしを家族や本人から聞き情報を得るようにしている。他のサービスを利用していた場合は、そこから情報を提供して頂いている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一人ひとりの1日の行動や言動をよく観察し、情報を共有したり見守りをしたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>月に一度ケアカンファレンスを行い、それぞれの利用者の声や家族の意向を尊重し、職員はケアの在り方について話し合っている。家族の方には面会等で気軽に要望や意見など話して頂ける様声かけしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>開設1年目は、まず利用者に「ホームに慣れていただく」ための支援を計画に採り入れて実践されてきたが、2年目は、利用者ご本人のできることを探したり、それを「有意義に行えるよう」に、具体的な支援計画を作成して職員間で共有し実践されている。計画は、ケアマネジャーと利用者個々の担当の職員が立て、毎月のカンファレンス時にモニタリングを行い、3ヵ月ごとに見直すようになっている。ご家族の来訪時や電話で計画を説明して、要望をお聞きしている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別の介護記録や経過観察記録等毎日の行動を記録し、申し送りやケアカンファレンス等により情報を共有し、どのようにしたら良いケアが行えるかを考え実践し介護計画の見直しに活かしています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>神南診療所との医療連携体制があり、医療連携ナースとも連携しているが、サービスの多機能化は特にありません。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>内子町社協、民生委員、生活指導員の方と連携があり、定期的な訪問を受けている方がいます。本人の家にも行き一緒に片づけも行いました。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>現在は家族の希望により、神南診療所を全員主治医とされています。眼科は本人のかかりつけ医を継続しており受診支援をしています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>骨折等の入院は、利用者の状態も踏まえて、できるだけ短期で退院できるように医療機関と連携されている。訪問マッサージを利用されている方も数名おられ、「マッサージノート」を作成してユニット入口に設置されている。マッサージ師の方が施術時、気付いたことやご本人からお聞きしたことを書いてくださるようになっており、ご家族が来られた時にも見られるようにされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に医療連携ナースの訪問があり、職員がその都度利用者の様子を報告して指示を受けている。また、電話連絡により相談し、指示が受けれるようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>サマリーなどで情報交換し、入院中や退院時の情報をとっています。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>サマリーなどで情報交換し、入院中や退院時の情報をとっています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所は、看取りの指針を詳細に作成しておられ、「看取りに関する理念」も作り、利用者の「その人らしい暮らし」を最期までサポートすることを示しておられる。又、ご家族へ向けての説明文も添付されて、どのような協力が必要かということも具体的に記載されている。現在、利用者やご家族は「最期は病院で…」というような気持ちを持っておられることが多いようである。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約時にグループホームにおいて看取りまで出来ることを説明して重度化、終末期の指針も説明し、家族の希望をその都度聞き、支援できるようにしています。</p>	<p>さらに今後、利用者の終末期のあり方についてご家族の思いをお聞きしたり、ともに考えたり学んだりするような機会を作ってみてはどうだろうか。又、利用者ご本人の希望等も探りながら、それぞれの希望に合わせた支援ができるよう取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所は、看取りの指針を詳細に作成しておられ、「看取りに関する理念」も作り、利用者の「その人らしい暮らし」を最期までサポートすることを示しておられる。又、ご家族へ向けての説明文も添付されて、どのような協力が必要かということも具体的に記載されている。現在、利用者やご家族は「最期は病院で…」というような気持ちを持っておられることが多いようである。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時には冷静に対応できている。 救命講習を定期的に行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に近隣住民と共に訓練を行っており、参加者全員で反省会を行い、災害対策に対し協力をしていただける関係を築いている。 (外部評価) 災害時、利用者を居室から避難させたことが分かるように、裏表で色の違う「確認札」を入りに付けておられた。運営推進会議時には、消防署の方にも出席いただき、南海大地震の予測や地震時の対応、非常時の持ち出し品についても詳しく教えていただいた。さらに12月には、地区の自主防災訓練が行われる予定であり、その際には「地震により事業所から火災が発生した」ことを想定して、地区全体で取り組むことになっている。このような機会を活かして、課題を明確にされ、事業所での自主訓練にもつなげ、利用者・職員・地域の方達の安心と安全に向けた体制作りに取り組んでいかれてほしい。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一人ひとりのプライバシーを尊重し、プライドを傷つけないように言葉使いにも気を付け対応している。 (外部評価) 事業所では「共同生活」を大切に考えておられ、利用者同士コミュニケーションがとれるような場面作りにも取り組まれている。調査訪問時には、利用者同士の会話も多くみられ、職員を待っている利用者の手をさすってあげる利用者の姿もみられた。又、おやつ作り際には、サツマイモをつぶす作業を順番で行ったり、食後の食器拭き等も手分けして行えるよう職員がうまく声かけをされている。目の不自由な利用者が食事の前には「おいしそうなお食事ができているようです。みなでいただきましょう」とあいさつをされ、食後にもあいさつをしてくださった。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活の中で、本人の思いや希望を職員に気軽に話して頂ける様声かけし接していくよう努め、本人の希望等にそえるようつとめています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの一日のペースを把握し、できる事やしてみたい 事に声かけし、希望がある事はできるよう支援をしている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 本人が着たい服を自由に選び着て頂いている。出張美容を 利用しカット、パーマ、顔そりをしていただき、化粧を希望さ れる方には支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの好きな食べ物、嫌いな食べ物を知り、色どりなど 盛り付けにも工夫を凝らし食欲が出る様努めている。また、 野菜切り、味付けにも参加して頂き、洗い物や食器拭きにも 声かけをし利用者の皆さんが協力して手伝って頂いている。 季節の食材を利用したり、ミキサー食を利用している。	
			(外部評価) 法人内の系列グループホームが順番で1か月ごと献立を作 ることになっており、食材は、地元の商店や業者がそれぞれ に届けてくれるようになっていて、新鮮な食材を使用して事 業所で食事作りをされている。職員も利用者と一緒にテー ブルを囲み、残っているおかずをすすめたりして、一緒に同じ ものを食べておられた。だいたい、みなで食事が終わるまで 利用者も職員も席を立たず、おいしい食事をゆっくり楽しめ るよう雰囲気作りにも配慮されていた。お誕生日にはご本人 のお好きなメニューを作ってお祝いされている。食事のメ ニューを利用者がホワイトボードに書いてくださり、食事を楽 しみに待てるようにされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 食べる量を理解し盛り付けを行ったり摂取量の記録や好み の水分を理解し必要量が取れるように支援しています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 食事後声掛けし口腔内の清潔保持に努めています。また、1 人で出来ない方に対しては職員が声掛けや誘導等の介助 を行い、一人ひとりに合った口腔ケアを行っています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
				一人ひとりの排泄パターンや行動を知り、それぞれの方に合った排泄支援を行っています。
			(外部評価)	
				食事の前や後にトイレに誘導されたり、ご自分で行く様子が見られた。職員は利用者がズボンをいじるようなしぐさがみられた時等には、トイレに誘ってみる等して、トイレで排泄できるよう支援されている。さらに、利用者個々が笑顔で暮らせるよう、便秘等にも気を付けておられ、表情等からも排泄支援を検討されている。
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
				毎日、排便の回数を記録し便秘がみられる利用者には水分を多めに摂って頂いたり、運動の声かけを行っています。強い便秘のみられる利用者には主治医と相談し、薬を処方して頂き対応しています。食事にも工夫し繊維質のものを摂って頂ける様にしています。
			(外部評価)	
				入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
				毎日入浴できるようにしているが、行事等がある場合は2日～3日で入浴できるように支援しています。また、希望を聞きシャワー浴にされる方もあります。(夏場)
			(外部評価)	
				利用者はみな、浴槽で温まることできるよう支援されており、時には、入浴剤を入れたり、職員は介助しながら利用者がお好きな歌を一緒に歌ったりされている。
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
				日中でもお部屋で休んでもらったり、フロアの畳で休んでもらうようにしています。夜間は、一人ひとりのリズムで休んでもらう。ただき不眠時には話をしたり飲み物を進めるなど安心してもらえるよう対応しています。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの服薬への支援をしている。使用している薬が何の病気の薬か理解しているが、副作用などの理解をする必要がある。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一人ひとりが出来る事を把握し、それに合った支援をし役割を担ってもらっている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりのその日の体調に合わせてホームの周囲を散歩したり日光浴ができるように支援しています。また、月に1~2度は内子、大洲などへ買い物に出かけ気分転換を図ってもらっている。地域行事(運動会・保育所訪問)等にも出かけて地域の方々と触れ合っている。	
			(外部評価) ベランダでトマトを育てておられる利用者がおられる。又、玄関先のプランターのお花の植え替えをされたり、近くを散歩されている。団地内には、町の事業の就農研修施設が数件建っていて、住人の方とあいさつすることもある。外出支援については、日常の支援や利用者の感想を報告されたり、ご家族の希望や要望等をお聞きするような機会を作ってみてはどうだろうか。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族の理解の上で少額のお金を自分で管理している人もいる。買い物外出時には、自分で支払いができるように援助している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話の取次ぎや親族の方から来た手紙への返事の手紙を書いていただけるよう声かけ等支援しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用空間において自由に行動して頂いており、冷暖房を必要に応じて使用し快適にホーム内で過ごして頂いています。季節ごとの花を飾ったり、利用者の方と一緒に季節感のあるちぎり絵を作成してフロア内に展示しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>山間の空気がきれいな環境の中にあるグループホームで、空の色もきれいに見え、鳥のさえずり等も聞こえてくる。隣接に系列グループホームがあり、行事等も合同で行われていて利用者も行き来され、団地内の3件のお宅にも声をかけて、ともに楽しむ機会を作っておられる。時には近所の子どもさんが遊びに来てくれ、居間で一緒に遊ぶことを利用者は大変喜んでおられる。畳のスペースに座布団を敷いて、座って昼食を取る利用者もおられる。昼食後、職員に声をかけて、たばことライターを受け取り、ベランダでたばこを吸う利用者の様子がみられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>畳で過ごして頂いたり、台所に誘ったり、共用空間に居ながら少しはなれる事ができるように対応しています。気の合う人がとなりに来るような配慮をしています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人が馴染みのある物を持ち込んでいただけるようにしている。住み慣れた部屋のようにして居心地のいい居室になるように、見慣れた物をかざり生活感があるように工夫しています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、ベッドやタンス・洗面台が備え付けてあり、食後には各居室で歯磨きをされていた。又、ベッドシーツはリースもできるが、ご家族がご自宅に持ち帰り洗って来られる方もいる。居室には、それぞれに、カレンダーをかけてあった。目の不自由な利用者の居室には、押すと現在の時間を知らせるような時計を置いておられ、ご本人の状態が少し落ち付かないような時には、押して時間を確かめられるよう支援されている。利用者がご家族と出かける際、ご家族にお願いしてお花の鉢植えを買って来ていただき、居室でシクラメンの世話をされている利用者もおられた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりが自分の部屋がわかる様に名前を出入り口に貼ったり、トイレがわかる様に表示したり、一人でも移動、行動できるように工夫している。段差なく車椅子で移動でき、木造建てで落ち着いた空間のある建物になっている。</p>	